

秋の黄砂を観測！

ライダーと浮遊粒子状物質（SPM）の観測結果より

富山県環境科学センターでは、2010年11月12日から14日にかけて、黄砂の影響でSPM濃度が急上昇したことを確認しました。大気中に粒子が増えたため、視程（見晴らし）が悪くなり、また、自動車などに黄砂の付着が見られました。

なお、富山県内でSPM濃度が環境基準（ $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ ）を超えた観測地点はありませんでした。

※富山地方气象台：11月12日14時頃から14日18時頃にかけて黄砂を観測。秋に黄砂を観測したのは8年ぶり。

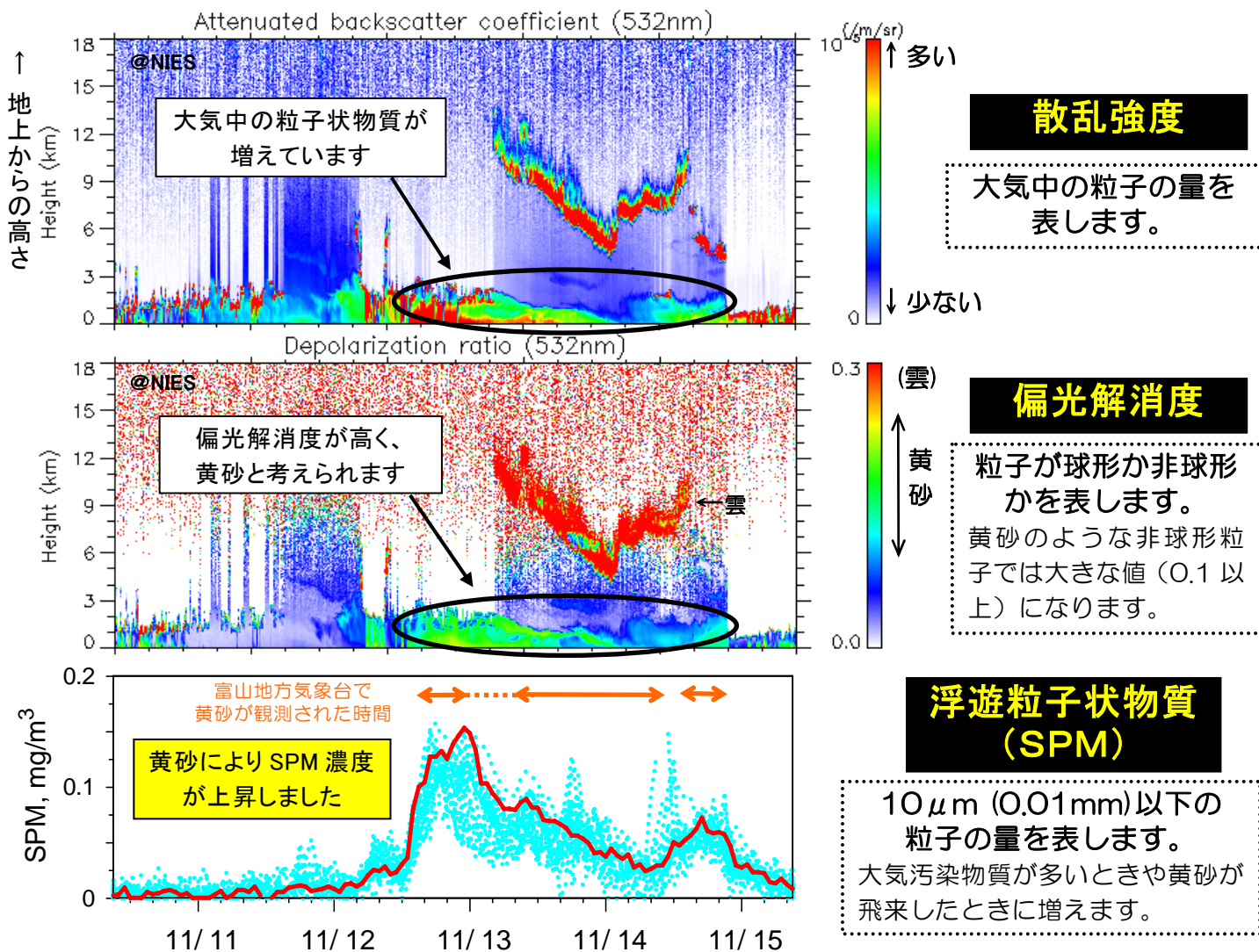


図 2010年11月12～14日にかけてライダーで観測された黄砂の飛来と浮遊粒子状物質（SPM）濃度の変化 [速報値]

—: 小杉太閤山局（環境科学センター） ●: その他の富山県内大気汚染常時観測局 28 地点

ライダー観測の最新情報は

<http://www-lidar.nies.go.jp/Toyama/index-j.html>

（国立環境研究所ライダーネットワークのHP）

富山県のSPM濃度の最新情報（速報値）は

<http://www.eco.pref.toyama.jp/mente/mente.html>

をご覧ください。

問合せ先：富山県環境科学センター大気課（近藤・木戸）

TEL 0766-56-2869